

ケアマネ通信おびひろ

第40号

平成 25 年 7 月 23 日 発行

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行責任：佐藤 篤史

【目次】

- 1、帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会・会長挨拶（地域包括支援センター愛仁園・渡辺さん）
- 2、癒しのオフタイム（ジャパンケア帯広南・野原さん）
- 3、認定審査会に派遣していただいて（介護老人保健施設ヴィラ開西・外山さん）
- 4、ケアマネの輪（デイサービスセンター愛仁園・岩館さん）

平成25年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会 会長挨拶

帯広市介護支援専門員連絡協議会
副会長 渡辺 こづ江

平成 25 年 5 月 26 日（日）13:00～帯広市介護支援専門員連絡協議会定例総会が執り行われました。冒頭、笠松会長から挨拶があり、会場の関係から日曜日の午後の開催になったにもかかわらず、たくさんの会員の参加に対し感謝の意が述べられました。

会長が気になっていることとして、報道等で、軽度者への介護保険サービスが市町村事業への移行になる可能性があることと報じられている。帯広市でも要支援 1, 2、要介護 1 の認定者が半数以上を占める現状。今後ますますケアマネジャーの仕事のあり方が問われている。介護保険の動向は今後も注意深く情報収集をしていかなければならない。今まで以上にケアマネジャーが社会の中で役立っているということのアピールが必要。医療と介護の懸け橋としての役割があることや、軽いうちから悪化を防止し自立を目指すケアプランと実証が大切。本日臨席されている歯科医師会や薬剤師会の方々との連携をより一層進めていく必要がある。本日お配りしたお薬手帳を活用した連携シートやお口の課題チェック票なども参考にしてほしい。

小関名誉会長は本日休日当番で出席されず残念だが、今後とも皆様のご協力のもと会を発展させていきたいとのことでした。

今年度もよろしくお願い致します。





癒しのオフタイム♪

ジャパンケア帯広南 野原 美香

私の癒しの時間といえば、好きなアーティストのDVDを観たり、音楽を聴いたりなど色々あるのですが、今日は、祖父とのことについて書きたいと思います。私の祖父は20年以上前から脊髄小脳変性症という病気を患っていて、ふらつきが強く歩くことが不自由なため、外出することはほとんどありません。在宅サービスは使っていませんが、要介護認定を受けています。家でスポーツ番組を観たり、昼寝をしたり…と自由に過ごしているのですが、昔から将棋が趣味で、今でも毎日本を読んで将棋の技を磨いています。私も小さい頃からよく祖父に将棋を教えてもらっては、はさみ将棋やまわり将棋などをして遊んでいました。



先日、そんな祖父の家に行き、久しぶりに本将棋をしました。私は20年以上やっていなかったのでハンデをもらい、祖父は「飛車」「角」なしで。一応ルールや、駒の動かし方はわかるのですが、攻め方がよくわからず、一時間ほどの勝負の結果、私は一歩及ばず負けてしまいました。最近、祖父の家に行っても一緒に将棋をすることはなかったので、小学生の頃を思い出し懐かしい気持ちになりました。仕事ではいつも利用者さんと接していますが、自分の祖父や祖母と過ごせる時間は少ないので、癒される時間だったなあと感じました。私は祖父と祖母のことが大好きだったこともあり、高齢者に関わる仕事をしたいと思うようになったので、これからも一緒に過ごせる時間がたくさん持てるといいなと思っています。癒しの時間を持ってお休みの日を充実させて、今後もよい仕事ができるよう頑張っていきたいと思います。



☆野原さん、おじさんとの素敵なエピソードありがとうございました☆

認定審査会に派遣していただいて

介護老人福祉施設ヴィラ開西 外山 史教

帯広市介護支援専門員連絡協議会として『介護認定審査会にケアマネも委員として参画すべきである!!』と帯広市に働きかけ続け、平成24年10月の合議体改変時より会員の派遣をしていることはご存じの通りだと思います。

利用者の生活を左右させる要介護認定において重要な位置を占める介護認定審査会に介護保険制度の中核を担う介護支援専門員が参画することは当然であると思っていましたし、医師をはじめ歯科医師や看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士等、様々な利用者の生活を支える専門職がいる中で、介護支援専門員の専門性を発揮し、一次判定では拾えない介護の手間を訴えることはとても重要なことだと再認識できました。合議体(5名)で話し合われる医師を含めた他職種の意見や視点、特記事項(調査項目チェックだけでは見えにくい生活状況はここから読み取ります)の重要性、日々の業務で疑問だった「なぜこの利用者が要支援になるだろう?」等がわかったような気がしています。



現在2期目(任期は年度の上半期と下半期に分かれています)を務めていますが、個人的にも大変勉強になりましたし、ケアマネとしての専門性を認識してもらえるチャンスだと実感すると同時に、これからもケアマネ連協から委員が派遣されるよう(現在ケアマネ連協からは5名派遣していますが、「10名派遣してほしい」と言われるよう)意識を高く持たなければならぬと感じています。この度は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。

ケアマネの輪

デイサービスセンター愛仁園～新施設のご紹介～

岩館 研介

会員の皆様、いつも大変お世話になっております。私はデイサービスセンター愛仁園で生活相談員をしております、岩館と申します。

会員の皆様方で、すでにご存知かとは思いますが、社会福祉法人普仁会では平成26年度の事業で地域密着型サービス事業を行うこととなりました。施設は2階建てで、1階には小規模多機能型居宅介護事業所と地域包括支援センターのランチ、2階には3ユニットの地域密着型特養になります。それぞれの名称は「地域密着型特別養護老人ホームあいじえん西帯広」、「地域包括支援センター愛仁園」、そして「小規模多機能型居宅介護事業所あもる」で、法人内の職員から公募し、決定した名前です。ちなみに小規模多機能の「あもる」という名前の由来は愛仁園の「愛」をスペイン語で訳したものです。私は小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャーとして異動することがすでに決まっています、しかも私自身初めてのケアマネの仕事となります。小規模多機能型居宅介護は、「通い」「訪問」「泊り」が同じ事業所でのサービス提供となるため、プランの内容がその方のニーズに合って、生活全般を支えるためのものでなければいけないという、まさにケアマネの腕の見せ所と言っても過言ではないと思います。これからの新事業に私の中では期待と不安が膨大していますが、地域に愛される、そして地域に根差した事業所にしていきたいと強く考えております。

開設日は平成26年3月中旬を予定しております。申込み等のご相談については、現在のところ未定となっております。詳細がはっきりし次第、各居宅介護事業所様等にご連絡致します。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

(事務局 帯広市社会福祉協議会 金井)

＝ 編後記 ＝

皆さん、暑い日が続きますがいかががお過ごしですか。

帯広ケアマネ連協で猫好きの方多いと思いますが、僕の職場の事務所には黒猫がいます。

毎朝、机に来てゴロンと横になり挨拶しにきてくれます。かなり癒されています。

猫の自由な生き方と、気持ちよさそうに昼寝している様子を見ていると猫になりたいな～と思うことも・・・

先日、自宅で20年飼っていたダックスが、眠るように息を引き取りました。

人間より寿命が短くても小さい体で健気に生きているから余計愛しいのかもしれないね。

意外と動物好きな編集長Sでした。